

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

				令和	4	年度
事業番号	322		事業名	観光総務費		
担当課	産業観光課		担当係	商工観光室	担当者	入江 則行
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり		連絡先	0858-72-0144
	施策体系	3	観光の振興		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	地域資源を体感できる観光の推進				<input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款	6	商工費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町
	項	1	商工費			<input type="checkbox"/> その他
	目	2	観光費		計画期間	開始
	事業	322	観光総務費			終了
						—

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 地域住民、地域・集落、観光事業者、町外観光客等				
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 観光入込客数をはじめとする関係人口の増加等による地域の振興及び活性化				
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など・どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 観光協会、近隣市町、観光事業者等との連携により、地域資源の磨き上げ・魅力発信、戦略的な交流・関係人口対策等に取り組む。				
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 観光入込客数をはじめとする関係人口の増加等による地域の振興及び活性化				
根拠法令等	5	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし		
	A	回	町・観光協会主催イベントの開催		
	B	件	観光交流促進補助金の活用		
	C				
	D				
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし		
	A	回	マスコミ・講演会等メディア露出頻度(情報発信成果)		
	B	人	観光入込客数		
	C				
	D				

4 コスト

区分		単位	R1年度	R2年度	R3年度		R4年度		R5年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	回	23	27	30	27	30	44	30
	B	件	—	—	10	12	10	10	10
	C								
	D								
成果指標	A	回	20	20	30	20	30	23	30
	B	人	739,000	539,000	750,000	624,000	750,000	761,000	750,000
	C								
	D								
トータルコスト		千円	28,179	20,358	49,381	42,531	48,896	45,488	58,272
担当職員数		人	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
職員人件費		千円	12,000	12,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
事業費		千円	16,179	8,358	33,381	26,531	32,896	29,488	42,272
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	1,359	542	1,898	1,898	1,650	1,650	1,344
	県支出金(交付金・補助金)	千円	2,225	2,420	0	0	1,000	1,000	1,000
	地方債(借入金)	千円	0	0	1,500	1,500			0
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	0	0		0			0
	一般財源(単町費)	千円	12,595	5,396	29,983	23,133	30,246	26,838	39,928

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

令和 4 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に) ・総合計画、総合戦略及び観光ビジョン・アクションプランをもとに、新型コロナによる社会の価値観や観光交流に対するニーズの変容を踏まえ、①地域資源の磨き上げ、魅力発信 ②戦略的な交流・関係人口対策 ③各種イベントの開催 ④民間の観光に関する取り組みの支援 について、関係機関等との連携により積極的に取り組み、観光入込客数をはじめとする関係人口の増加等を図っている。 成果(具体的に) ・未曾有のコロナ禍の影響を大きく受けているものの、近隣の市町の家族層をターゲットとしたおいでやす事業の展開やコロナに配慮した各種イベントの開催、白兔伝説や星空といった新しい観光アクティビティを創出するなど創意工夫をすることで、総合戦略にも掲げるKPIである観光入込客数については目標を達成するなど観光振興を図ることができた。
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	・コロナ禍で観光産業に大きな打撃を被っており、早急な観光振興策を講じる必要があると共に、ウイズコロナ時代に即応したイベント開催やアフターコロナに向けた情報発信を展開する必要がある。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	・コロナの影響を受けている民間事業者や人の交流、従来通りのイベント開催に制限がかかる中、広域的な観光連携や誘客促進を図ることが求められている。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	・観光振興策としては麒麟のまちDMOをはじめとした広域連携に取り組むことで効率的な誘客や関係人口の創出に努めているが、コロナで開催見送りとなったイベントについては町の魅力発信に繋げられるよう内容の磨き上げと効率化を図る必要がある。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	・観光誘客や関係人口の創出に取り組むことで観光消費を喚起し、町内観光事業者に留まらず地域経済の活性化を速やかに図る必要がある。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	・コロナの影響が残る中ではあるが、おいでやすキャンペーンが功を奏したことに加え、ウイズコロナに即応した謎解きイベントや白兔伝説・星空観望といった新しい観光資源の創出・磨き上げ等の効果もあり、観光入込客数の目標を達成。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	
合計	86			

7 町の方向性・方針

事業の方向性	問題点及び今後の課題・方向性
2	(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所) ・従来からあるイベント等の事業では従来の手法により難しいものを転換し磨き上げていく必要がある。またアフターコロナに向けて関西や首都圏との交流を深化させるなど更なる観光誘客を図ることが求められる。 (上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか) ・コロナで抑制していた関西圏・首都圏での各種観光PRの推進を加速するなど情報発信に努める。併せてコロナ禍で獲得した近隣市町からのリピーター等の八頭町ファンに加え、広域連携によるインバウンドも含めた国内外の誘客促進を図る。
1 拡充する	
2 改善・効率化し継続	
3 現状維持	
4 見直しの上縮小する	
5 終期設定し終了	
6 廃止	